

平成27年度第6回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会議事録

▽日 時 平成28年3月1日（火）午後4時から5時30分

▽会 場 府中駅北第2庁舎 3階 第2～4会議室

▽出席者 委員側 山本会長、木村委員、正木委員、谷合委員、近藤委員、澤田委員、  
内藤委員（7名）

事務局側 間宮行政管理部長、日原建築施設課長、梶田建築施設課長補佐（兼）  
公共施設マネジメント担当副主幹（兼）保守管理担当主査、南学建築  
施設課公共施設マネジメント担当主査、矢ヶ崎生涯学習スポーツ課長、  
山田総務課学校施設担当主幹  
※その他関係課職員も出席

▽傍聴者 1名

次第：

1. 議題

（1）報告書（案）について

2. その他

【配布資料】

資料 府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会検討結果報告書（案）

(開会)

事務局

皆様こんにちは。ただ今より「平成27年度第6回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会」を開催いたします。

委員の皆様におかれましては、ご多用のところ本協議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

事務局より配布資料の確認をさせていただきます。

(※事務局 資料確認)

資料は以上でございます、会長、よろしく願いいたします。

会長

それでは、第6回府中市公共施設マネジメントモデル事業検討協議会を開催します。皆様、本日もどうぞよろしく願いいたします。

始めに、本日の委員の出席状況及び前回の協議会の議事録について、事務局から報告をお願いします。

事務局

まず、本日の会議は、委員皆様にご出席いただいておりますので、有効に成立することをご報告させていただきます。

続きまして、前回の協議会の議事録につきましては、修正点がございましたらご指摘くださいようお願いいたします。

会長

前回の議事録について修正箇所などありましたらお願いします。

それではないようですので、続いて、本日の傍聴者について、事務局よりお願いいたします。

事務局

本日の傍聴につきましては、1名の応募がございました。ただ、現在まだいらっしゃっておりませんので、委員の皆様の承認を得た後、傍聴希望者がお越しになられた時点で入場していただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

会長

傍聴希望者の入場を許可してよろしいでしょうか。

委員一同

異議なし。

会長

それでは、議題に移ります。

議題（１）報告書（案）について、事務局より説明をお願いいたします。

事務局

本検討協議会からの報告書（案）について、内容をご確認いただければと思います。資料をご覧ください。

報告書の構成について説明いたします。まず第１章で、検討に当たっての前提条件である、公共施設マネジメント全体の取組や府中駅周辺施設の再編という枠組みについて記載しています。

第２章では、学校と地域プールに分けて現状を示し、今後の課題を記載しています。なお、前回の会議の資料では、現状と課題をまとめて記載しておりましたが、現状と課題の項目を分け、より明確になるような形でまとめ直しています。

第３章では、学校施設の更なる活用に向け、学校開放及び複合化の手法などについて、まとめています。

第４章では、今後の方向性として、取組全体、学校開放、そして複合化について記載しています。

最後に、第５章では、取組を着実に進めていくためのポイントについて記載しています。

続きまして、内容について前回の資料から修正及び追加となった点を中心にご説明いたします。

まず、「はじめに」として本検討協議会が設置されてからこれまでどのような議論を重ねてきたか、また、今後の取組についての考え方をまとめています。続いて、本協議会の役割や位置付けなどを記載しています。

第１章、「検討に当たっての前提条件」につきましても、前回の資料から変更した箇所はございません。

第２章、「公共施設マネジメントの視点から見た対象施設の現状と課題」につきましても、冒頭でも申しあげたとおり、それぞれ分けて記載しています。１の「学校施設の現状」については、１点目として施設全体に占める割合、２点目として老朽化に関する内容を記載しています。老朽化の状況を示すため、学校施設の一覧表を載せていますが、築年数については校舎のみでなく、体育館も併せて記載する形に変更しています。３点目は児童生徒数の変化、４点目は教育機能の確保に関する内容となっています。２「地域プールの現状」については、１点目が利用者の安全性の確保、２点目がプールの維持管理のコスト、３点目が地域プール等の利用者数、４点目が民間プールの利用状況、５点目が事務事業点検の結果に関する内容となっています。３の「今後の課題」では、学校施設や地域プールの課題を新たにまとめました。学校施設に関する課題の１点目が、短期間に集中する学校施設の更新費用です。３３

校ある学校施設を全て改修や建替えを行うことは、非常に大きな財政負担となりますので、いかにそれを抑えていくかということが課題となります。2点目が各学校の状況を踏まえたハード・ソフト両面の柔軟な対応です。こちらは、1点目とも関係しますが、例えば、市全体の人口の減少はまだ始まっていないとも、地域によっては減少が始まっているところがあったり、まだ建替え後間もないところもあったりしますので、画一的ではない柔軟な対応が必要であるということを示しています。地域プールに関する課題の1点目は、事務事業点検でも指摘されているとおり、具体的な見直しの早期実施です。2点目は市民ニーズへの対応です。

第3章、現在の学校施設の活用状況につきましては、前回の資料から内容を変更した箇所はございませんが、表を追加しています。30ページに追加した「学校プールの一般開放の状況」の表は、第2回の会議でもお示ししたのですが、多摩地域各市の学校プールの開放状況をまとめたものです。33ページには図を追加しています。この図は第3回の会議でもお示ししたのですが、学校施設を複合化する際の整備方法をまとめたものです。

第4章、学校施設の更なる活用に向けた方向性では、取組全体の方向性と、学校開放、複合化それぞれの考え方についての方向性を示しています。まず「取組全体の方向性」としては、検討対象となっている学校施設が教育の場としてだけでなく、開放時には地域住民が利用したり、災害時には避難所が開設されたりと、既に多様な目的で利用されていることを記載しています。このようなことから、学校施設は地域住民の拠り所となる施設であると考えられます。学校施設の活用範囲を広げ、新たな市民サービスを提供することは、利用者と学校との新たなつながりを生み出し、学校施設との結びつきを一層強くする効果が見込まれます。また、地域に開かれた学校作りが求められているなかで、双方の協力体制の構築につなげていくことも期待されます。「学校開放の方向性」として、まずは(1)「基本的な考え方」のなかで、短期と長期に分けて示しています。短期的には、これまでと同様に校庭や体育館を中心とした運用を続けながら、夏休み期間中の学校プールの開放を地域プールの見直しと連動して取り組むこと、長期的には、変化に合わせた新たな学校開放のあり方を作りあげていくことを記載しています。(2)「学校プールを開放する学校数」では、全ての学校を開放するというのではなく、いくつかの学校を選定して実施することを記載しています。(3)「学校プールの開放期間」では、夏休み期間中であっても、開放日時が水泳指導や部活動の時間と重ならないよう配慮することを記載しています。(4)「学校プールの開放時の運営」では、安全面、運営面を考慮し、民間事業者への委託が適していることや、更衣室やトイレ等の設備について、利用者に支障がない水準で提供する必要があることを記載しています。最後の(5)「大きな枠組みによる地域プールの見直し」では、学校プールの開放と地域プールの見直しという関係性ではなく、民間プールを含めたプール全体を捉えて、見直しを進めていくことを示しています。

3「学校施設の複合化の方向性」では、まず(1)「基本的な考え方」として、市と教育委員会、市民が一体となり、複合化に対する考え方をまとめていくことを記載しています。(2)「各課題に対する一体的な取組」では、老朽化や複合化、総量圧縮といった取組があるなかで、個別に取組を進めていくのではなく、一体的に進めていくことを記載しています。

第5章「取組の着実な実行に向けて」では、長期間、継続的に取り組んでいくため、重視すべきポイントを4つ列記しています。1点目が市と教育委員会による体制作り、2点目が幅広い市民の意見の確認、3点目が地域住民との協働、4点目が試験的な実施による課題の整理と取組への反映としています。

最後に、本報告書に係る参考資料として、検討協議会の設置規則や委員名簿、これまでの検討経過、市民及び児童生徒アンケートの結果、用語集をまとめています。

以上が、報告書（案）についての説明となります。

会長

ありがとうございました。検討結果のとりまとめについて、ご質問やご意見はございますか。

委員

今後の進め方についてですが、3月に市長へ報告を行った後は、どのように公表するのですか。

事務局

市ホームページで公表することとなりますが、本報告書のみをプレスリリースしたり、議会へ報告したりすることは予定していません。今後、本報告書を踏まえ、庁内で議論を重ねた上で来年度方針を定め、議会へ報告してまいります。

委員

教育現場の方々には、報告書完成のタイミングで伝えてもよいのではないのでしょうか。

事務局

来年度、報告書を市ホームページで公表するタイミングなど、検討させていただきます。

会長

学校の老朽化は非常に厳しい状況ですので、早めに対策を立てなければならないことを報告書に記載する必要があります。

事務局

築年数だけでも、府中市の学校の老朽化が進んでいることがわかる状況かと思えます。教育委員会において、現在老朽化の実態調査を行っているところですが、途中経過からも、学校が予想以上に老朽化している様子が見受けられます。学校施設の老朽化に対し、これまで以上に危機感を持って対応しなければならないということは、伝えていく必要があると考えています。

## 会長

本来ならば学校開放の方針等を策定するタイミングと合わせたほうがよいと思いますが、老朽化対策についてはそれを待つことなく、早急に庁内で検討をお願いします。

## 委員

多くの学校が耐震改修を行うなかで、建替えを行った学校がありますが、何か違いはあったのでしょうか。

## 事務局

耐震化に関する調査を行った結果、第十小学校と第三中学校、そして第五中学校の一部は耐震改修ではなく、建替えが必要と判断したためです。なお、耐震改修は耐震性能を確保することを目的としたものであり、老朽化への対応を含んだものではありません。

## 委員

前回の委員会で事務局からは、『各課題に対する一体的な取組については、本市における学校施設に関する検討が、これまでは喫緊の課題である老朽化への対策が中心となっており、複合化、また総量圧縮という課題に対しては、検討はこれからという状況となっています。このままでは、学校施設の老朽化に対応することだけを考えて建替えや改修が行われ、その後、複合化に伴う改修や総量圧縮に取り組むという事態になりかねなく、過剰な投資や非効率的な施設整備を招くおそれがあります。そうならないためにも、各課題相互の関係性を意識し、一体的に取り組むことが求められます。』という説明がありましたが、一方で会長から発言のあったように、まずは老朽化対策を先行する考えもありますが、市としてはどのように考えますか。

## 事務局

老朽化対策が喫緊の課題であるという認識は事務局も持っており、一体的な取組の必要はありながら、一部施設は老朽化のための対応を先行して実施する必要があるかもしれません。ただし、具体的な対応について、例えば、資料に記載の築年数は学校の最も古い棟を取り上げたものですので、複数棟で成り立つ学校の全ての棟が同じ築年数というわけではありません。このことから、全棟一斉に建て替えるか、それとも老朽化の進んでいる一部の棟のみ先行して建て替えた後に複合化を図っていくなど、様々な方法があると考えております。

このようなことを考えつつ、老朽化の課題があるからこそ、これまで検討が進まなかった複合化についてもタイミングを見て、一緒に検討することもできるのではと考えております。

## 会長

なるべく短時間で議論し、市民の方々のご意見を聞いてもらいたいです。学校を中心として複合化を進めるのか、学校を統廃合して、他の施設を複合化するのかなど、考え方をまとめていく必要があります。築年数については、一番古い棟のみのデータということですが、

少なくとも古い棟がこれだけあるということなので、なるべく早く結論を出していかなければなりません。

#### 事務局

スピード感は非常に重要と考えています。本取組は、第1次推進プランのモデル事業として設定したもので、平成27年度に検討し、平成28年度に方針を出す予定としています。このスケジュールに沿って、来年度に方針策定ができるよう進めます。

#### 会長

5ページの公共施設全体の更新費用を試算したグラフでは、年間の不足額が約33億円となっていますが、このグラフでは大規模改修の費用が十分考慮されていませんので、実際には更に大きな不足額になるはずです。

#### 事務局

ご指摘の点は、これまで学校施設に対しては、機能が十分整っていなかったり、耐震性能が必要であったりと、足りないものを補うためにお金をかけてきており、修繕など、長期間施設を使用していくためのお金があまりかけられてこなかったということとも関係していると考えております。今後は、公共施設マネジメントを進めていくなかで、公共施設全体を捉え、総量の最適化と計画的な保全を図る必要があると考えております。

また、学校施設については、本市の人口は当面横ばいであり、複数の学校の統廃合などをすぐには進められない状況ですが、老朽化の対策を取らなければならないということで、他の自治体とは少し異なる課題に直面している状況です。本協議会において、学校施設の議論を行ったことで、今後更に庁内全体で連携を図りながら、複合化も含め検討していくきっかけになったのではと感じています。

#### 委員

2ページの「検討の流れと本協議会の位置付け」で、「職員による検討委員会」とはどのようなものでしょうか。

現在、具体的に個別施設の検討をする時期に来ていると思います。その際の判断基準として、生徒数や老朽度などを数値化して客観的に判断できる指標が必要であると思いますが、そのような検討を職員による検討委員会では進めているのでしょうか。

#### 事務局

検討委員会はすでに設置している庁内委員会のことを示しています。これまでも、本協議会の検討状況や各施設における取組状況などを報告、検討しています。

学校施設については、ご指摘のとおり、具体的にどこの学校から老朽化対策を行うか判断していく時期に来ていると考えています。老朽化の調査結果や学区ごとの児童生徒数の推計などを踏まえ、庁内で議論しながら進めていきます。

#### 委員

どの程度の教室数を残すべきかということを検討するため、以前の会議で示したような人口推計も報告書に入れる必要があるのではないのでしょうか。府中市も20年後には人口減少の局面に入るはずです。

#### 会長

府中市の児童生徒数は、短期的には横ばいの見込みですが、将来の人口動向を見据えながら学校としてどこを残すのかを議論し、大規模改修や建替えを行っていく必要があります。また、必要となるお金については、例えば、昨年度検討を行った府中駅周辺の再編を進めて得られる財源を使って学校に投資していくことなどを考えないと、学校だけが取り残されるおそれがあります。

#### 事務局

昨年度から進めています府中駅周辺の再編については、現在スケジュールに沿って、基本方針の策定を終えたところです。学校施設に関する取組については、これまで増築を重ねてきている現状を踏まえ、各学校の特徴を分析し、長寿命化や複合化、一般開放といった検討を進めていかなければならないと考えています。

#### 会長

委員からの発言でもありましたが、施設ごとに点数化を行うことは重要です。耐用年数の残年数や外壁の状況、トイレの乾式、洋式の状況などもチェックする必要があります。

#### 事務局

学校の老朽化の調査結果を踏まえ、棟ごとの状況を判断して点数化など、検討していく必要があると考えています。また、検討に当たっては老朽化が進んでいる施設のみでなく、まだ新しい施設も含めていかなければならないと考えています。公共施設マネジメントの視点を持ちながら、老朽化対策や複合化と併せて、長寿命化・建替え計画をスピード感を持って策定していきたいと考えています。

本市は今年度、体育館の非構造部材の改修を行いました。1年という短い期間で終わらせるため、学校運営に相当の影響を与えてしまった部分もあるかと感じています。このことから、今後はしっかりした計画を立てて進めていきたいと考えています。

#### 会長

学校施設の複合化を進める際には、既存施設の複合化と建替え時の複合化があるので、その点も考慮して検討していただきたいです。

#### 委員

一般的には、報告書だけを見ても理解しづらいため、市民向けにどのように説明していく

のかを考えないと、混乱を招くおそれがあります。

現状として、学校の老朽化は非常に深刻で、体育館の床が傾いているところもあり、修繕には何千万円もかかると思います。建替えは準備期間も合わせて4年くらいかかると思いますが、工事期間中は使用できない部分が生まれてしまいます。体育館の建替えで3か月間部活ができなくなった例では、他の施設を借りるなど、非常に大変な状況でした。その中で、現場では改修や建替えはもう行いたくないという意見が出たこともありましたが、そのような意見があっても進めていかなければならないことだと思います。

府中市としては、体育館の照明をLED化するなど、学校側の要望に対応していただいていることもありますので、そのことはしっかりアピールしていただければと思います。

今後は状況の説明だけでなく、まずは方向性を出していただきたいです。そのほうが市民もパブリックコメントなどで意見を言いやすいと思います。

## 事務局

公共施設マネジメントの取組について、市民の方々にも共通の認識を持っていただくため、少しずつ、時間をかけて進めてきました。その過程を経て、本協議会で議論いただいた学校施設の検討は、推進プランのモデル事業という位置付けで、各論に入る内容だと考えています。今後も、なぜこのような議論が必要なのかという前提を常に説明しながら、共通認識を持っていただけるように進めていきたいと思っています。

## 委員

学校施設の複合化を進めていくことは必要だと考えています。様々な人と関わり合いながら生きていくのが社会というものです。例えば、高齢者施設と一体になることで、その方々とのつながりが生まれ、人間性が高まったり、文化の継承ができたりと、良い面があります。

## 委員

取組を進めるための材料は既にそろっていますが、市民に説明する際にはこの報告書のエッセンスを抜き出した要旨のような資料を作って伝えることも大事だと思います。

本協議会では、地域プールや学校プールの取扱いを中心に議論してきましたが、地域プールについては多摩地域の他市に比べて多く整備してきたことや、利用者数が3分の1に減っていることを報告書本体、そして要旨にも強調して記載すべきと思います。また、学校施設については、府中市も将来的には人口減を迎えるということと老朽化の深刻な問題、複合化に取り組む考えがあることを伝えることが重要であると思います。

報告書のいくつかの表現について、改めて検討いただきたい点を申し上げます。

17ページの「地域プールの利用者数の変化」で示されている7施設合計のグラフは、最初に大きく示すべきだと思います。

22ページの地域プールの課題について、「市民ニーズへの対応」の記載があります。ここまでは、地域プールの廃止の方向性を中心として記載していますが、この部分ではその方向

性を緩めています。事務局は、今後の地域プールについてどのようなイメージを持っていますか。

#### 事務局

事務事業点検の結果や、本協議会で出されたご意見を踏まえ、地域プールは廃止も含めた見直しを進める必要があると考えていますが、どの程度廃止していくのかということについては、今後詰めていかなければならないと考えています。

#### 会長

地域プールの利用者数は減少しています。また、利用者のほとんどが子どもですので、学校プールの開放である程度は廃止できると思います。

#### 事務局

施設の面では、学校プールを開放することで対応できるものと考えています。一方、運営の面では、ニーズに対してその施設でどう対応できるか、例えば遊びに来ている子供たちに対してどのような遊具を提供すればニーズが満たされるのかということも含めて検討する必要があると考えています。

#### 会長

学校プールの更衣室は、開放に合わせて整備すると良いと思います。

#### 委員

地域プール廃止の方向性について、子どものことを考えると寂しい部分もありますが、学校の老朽化の現状を見ますと、地域プールを廃止し、その財源を学校施設の充実に使ってもらいたいと思います。PTA連合会から出席している立場として、そのことは発言しておく必要があるかと思いましたが、ただし、先ほどの話でもありましたが、市民がいきなり報告書だけを読んでも理解できない部分がありますので、慎重に進めていただきたいです。

#### 委員

学校プールの活用について、部活動については配慮しなくてはなりません。中学校の水泳部は11校のうち4校しかありません。中学校のプールなら大人も泳ぐ目的で利用できますので、活用できるかもしれません。常に利用している方が、水質が維持され、管理の効率化も図られます。

#### 委員

学校施設の複合化について、わかりやすく示すため、これまでの協議会で使用した事例等を記載するとよいと思います。

事務局

最終的にまとめる際に記載します。

委員

できるかどうかはわからないのですが、学校の改修のために民間に資金援助を求める考えはありますか。

事務局

現在、東京競馬場から環境整備費としていただいているお金がありますが、これは特定施設の整備費に充てるものではなく、インフラも含めた公共施設全体のために活用するものと位置付けています。その他にも、地元の企業から施設整備の際に寄付金をいただいた例がありますので、資金援助の可能性がないわけではありません。

会長

それでは、本日出された意見を踏まえ、報告書をまとめていくこととなりますが、検討協議会は本日が最後となりますので、改めて作成したものをメールでご確認いただいた後で、最終的な確認及び修正は会長、副会長にご一任いただくということでご了承いただけますでしょうか。

委員一同

異議なし。

会長

それでは、次に議題2のその他について、事務局から何かありますか。

事務局

本日が検討協議会の最終日ということで、ご挨拶をさせていただきます。

平成27年6月の第1回から本日の第6回まで、委員の皆様には活発にご議論いただき、感謝申し上げます。この報告書をもとに来年度以降、学校施設の更なる活用に向けた考え方を教育委員会とともに取りまとめ、老朽化の課題とともに、着実に取り組んでいきたいと考えております。

本日が検討協議会としては最後となりますが、今後も市の取組に対してご意見をいただければと思います。誠にありがとうございました。本日が最終の委員会ですので、行政管理部長の間宮からご挨拶をさせていただきます。

間宮行政管理部長

委員の皆様には、お忙しいところ6回にわたりご議論いただき、ありがとうございました。

本市では、これまで公共施設マネジメントを着実に進めてきたこともあり、今では職員も

議員も市民も公共施設マネジメントという言葉を知り、使うようになってきましたが、まだ言葉が広まっていない当初、平成25年11月3日には「府中市の公共施設は、いま」というシンポジウムを開催いたしました。そこでは、本協議会の会長である山本先生、東洋大学の根本先生、高野市長によるパネルディスカッションを開催いたしました。山本先生の「公共施設マネジメントは、総論賛成、各論反対になりやすい。公共施設の見直しは大切だとわかっていても、いざ自分の使う施設が対象になると反対するという流れになってしまう。なぜそのような事態になってしまうのか」といふと、総論を十分に理解してもらっていないからではないか。」というお話が印象に残っております。本市の取組はまさに各論に入ろうとしている段階ですが、利用者の方などから反対の声も聞こえてくる状況となっております。我々も最初の総論の部分をご理解いただきながら取組を進めていかなければいけないということ、また同時に次のステップに向けてスピード感を持って進めていかなければいけないことを肝に銘じ、皆様からいただく報告書を職員で着実に実行してまいりたいと考えております。6回にわたり熱心にご議論いただき、この協議会が運営できましたことに改めて感謝申し上げます。

引き続き、事務局から今後のスケジュールをご説明させていただきます。

先ほど会長よりご発言のありましたとおり、本日いただいたご意見を反映させた報告書を改めて作成し、2週間後を目途に委員の皆様へメールで確認を依頼させていただきます。その後、最終的な形として取りまとめた報告書について、3月25日（金）の午後2時より、市長への報告の場を設けています。委員の皆様もお時間の都合がございましたらご出席いただければと思います。詳細につきましては、後日ご連絡いたします。

最後に委員の皆様から一言ずつ、ごあいさついただければと思います。

#### 会長

約1年、ありがとうございます。特に一部の委員の方々は約2年間という長い間、ありがとうございます。私達の意見を市で受け止めていただいて、より良い府中市の公共施設のあり方を見出してもらえたらと思います。

私は、この協議会とは別に、東日本大震災の被災地の復興にも関わってきました。自治体のなかには、復興予算があるものの、基本計画や基本設計という段階の施設を今後のことを考えて全て見直しをしようとしているところもあります。建物を造っても将来維持していくことができないという事態にならないよう考えている状況です。そのような自治体もあるということ踏まえ、今後、府中市も市民と一緒に良い公共施設を造り上げていただければと思います。

#### 委員

昨年度のモデル事業1に関する協議会から参加させていただきましたが、現在そのモデル事業1が着実に進みつつあると伺って、非常にうれしく思っています。今年度のモデル事業2についても同様に着実に実を結んでくれれば良いと強く願っています。

私は、他の自治体でも公共施設マネジメントに関する協議会等の委員を務めておりますが、やはり府中市は、産業が集積しており、非常にまとまりが良いまちというのが特徴だと感じています。駅前の再開発が今後進んで、東京の1つの名所となるようなまちの顔を持った市になっていただきたいと願っております。ありがとうございました。

#### 委員

約1年間、本当にありがとうございました。私は、PTA連合会から理事として、また府中第六小学校のPTA会長として参加させていただきました。市内には22の小学校、11の中学校、合計33の学校があります。本当は、33校全てのPTA会長が公共施設マネジメントの総論について勉強し、行政と共にどのように学校施設に対応していかなければならないのかということを知る必要があると感じました。非常に勉強になりました。様々な課題はあるとは思いますが、今後、学校施設をはじめ、より良い行政を進めていっていただければと思います。

#### 委員

1年間ありがとうございました。校長という立場で参加させていただき、最初はどのように関わっていくべきだろうかと考えておりました。それが、プールの事から始まり、段々と大きく学校施設へと話が進んでいくなかで、まちづくりはこのような過程で行われ、まちづくりのなかで学校がどのように位置付けられるか、どのような役割を持っているのかということに改めて理解することができました。

各学校長も公共施設マネジメントの総論をしっかりと知った上で、自分の任された学校がどのような役割を担い、今後どのように施設を維持、活用していかなければならないのかということに改めて理解する必要があるということをおぼろげに学ぶことのできた場でした。他の校長先生にも折に触れてお話ししていきたいと思っております。

#### 委員

あまり意見を多くは出せませんでした。非常に学ぶことが多く、勉強になりました。協議会に参加したことで、体育協会を含め、地域の方々に説明していくことができるかなと考えております。ありがとうございました。

#### 委員

様々な方と意見交換ができたということ自体、非常に参考になりました。ありがとうございました。スピード感を持って取り組むということに加えて、選択と集中ということを大切にしていきたいと思います。日本の将来、府中の将来を背負って立つのは子どもたちです。そういった事を考えると学校施設がいかに大切か改めて感じました。2年間、ありがとうございました。

#### 委員

昨年のモデル事業1では、府中駅周辺のにぎわいということから商業面、モデル事業2ではプールや学校といった文化面と、専門の方々の貴重なご意見を伺いながら、様々なことを学ぶことができました。ありがとうございました。今後も様々な形でこの取組に関わっていただければと思います。

#### 事務局

委員の皆様ありがとうございました。

事務局からは以上でございます。

#### 会長

以上で第6回の協議会を終了いたします。

ありがとうございました。

以上